

# LE MANS

## LE MANS

# 2009ル・マン24時間



## 2009 年ル・マン 24 時間 プレビュー (1)

### ミシュランの新たな挑戦

今年のル・マン 24 時間には新しい要素が数多くあります。まず、タイヤ交換のピットストップ時間が長くなります。さらに、ミシュランにとって新たな挑戦となる車両規定の変更もあります。ル・マンでは 1998 年からミシュランタイヤ装着車が勝利を続けており、今年のレースで 12 年連続総合優勝を目指します。ル・マンで使用されるタイヤのラインナップは 90% (LMP1 クラスでは 100%) が新しくなりました。

タイヤ交換のピットクルーは今年から 2 人、ホイールガンは 1 個となったため (昨年までは 4 人と 2 個)、タイヤにはこれまで以上に耐久性と長寿命が求められるようになりました。

さらに主催者の ACO は、LMP1 と LMP2 の両クラスのエンジン出力と空力性能を削減しました。どちらもタイヤに大きな影響を与えます。

詳しくはプレビュー2 でご紹介しますが、このレギュレーション変更により、ミシュランにとって解決すべき新たな課題が生まれました。2009 年のタイヤラインナップの開発は 2008 年後半から始まりました。変更点についてはまずセブリング 12 時間で検証し、続いて 4 月にモンツァでプライベートテストを行い、5 月上旬には最終リハーサルとしてスパ 1000km に参戦しました。

第 77 回ル・マン 24 時間に参戦する 55 台のうち 41 台がミシュランタイヤを使用します。ミシュランの目標は 2008 年と同様に 4 カテゴリーの制覇です。またこのイベントは、ミシュランにとってタイヤの環境負荷を減らす取り組みであるミシュラン・グリーン X・チャレンジをより広く知ってもらい機会でもあります。これはミシュラン・エナジー耐久チャレンジに代わるもので、ル・マン 24 時間だけでなく、ヨーロッパのル・マン・シリーズとアメリカン・ル・マン・シリーズを通じて競われます。各車のエネルギー効率指標で測られるチャレンジの優勝者は、耐久レースにも環境性能が必要であることを示すために、2010 年ル・マン 24 時間に招待されます。

